

公募写真展「寿齡讃歌—人生のマエストロ—写真展」は、写真を通して人生の達人であるお年寄りを称え、そこに写り込む地域文化を世界に届け、未来へ伝えていくことを目指し、15年目を迎えました。おおむね75歳以上の高齢者を被写体とした写真を公募し、講師による講評会を経て茅野市美術館に展示し、さらに作品集に掲載します。またインターネットを活用し、応募作品を茅野から世界に向けて発信します。

この公募展は長野県諏訪市出身の写真家・木之下晃氏によるプロデュースで始まり、木之下氏を講師に応募写真をモノクローム(白黒)の作品にして展示してきました。2015年に木之下氏が逝去され、2016年度からは講師に写真家・英伸三氏をお迎えし、応募者の撮影意図を生かしてモノクロームとカラーの作品を募集し、展示しています。

木之下氏の没後5年となる今年は、関連展示や常設展で木之下氏の足跡をたどり、改めて「モノクローム写真」の魅力を掘り下げます。被写体の存在がひきたつモノクローム独自の表現に挑戦した写真のご応募お待ちしております。どうぞふるってご参加ください。

寿齡讃歌—人生のマエストロ—写真展15 写真募集 【募集要項】

テーマ

■人生を積み重ねた高齢者の奥深い表情や、生活を営む姿を撮影して、高齢者を称えて喜びを届け、次世代にそれを伝えて行く。被写体は、おおむね75歳以上の方々。

応募資格

■プロ、アマ、年齢、性別、国籍を問いません。

応募期間

■2020年5月1日(金)～5月31日(日) 休館日:火曜日
※5月7日(木) 振替休館

受取方法

■応募されたプリント及びデータは写真展初日以降返却いたします。展示した写真をご希望の方は、写真展終了後、茅野市民館事務室にてお受取りください。

※ご希望の方には、展示した写真と作品集を着払いにて配送いたします。

応募規定

①申込用紙に撮影者名、年齢、職業、住所、電話番号、タイトル、被写体の年齢、撮影場所、コメント(30字以内)を明記してください。展示作品と作品集に反映されます。

②1人3点まで提出可能。

※応募された作品は講師が1人1点に絞り、茅野市美術館へ展示及び作品集に掲載いたします。

③モノクロ(白黒)、カラーともに可。原則、400万画素以上のJPEGデータでご提出ください。

④応募作品は本人が撮影したもの、合成加工していないもの及び被写体の表情が写っているものに限りです。

⑤応募作品は天地がわかるようにご提出ください。

⑥公序良俗に反しないもの、被写体の肖像権、管理、所有権に問題が生じないもの。作品の主たる被写体となっている人物からの苦情等の責任は、著作者(撮影者)にあるものとします。

⑦展示作品はすべて作品集に掲載いたします。

※作品集掲載の可否は撮影者が被写体の方の了解を得た上で、応募してください。

⑧各応募作品の著作権は撮影者に帰属しますが、作品展示及び作品集掲載など、応募作品の使用権は主催者に帰属します。

■応募にあたっては、募集要項のすべてに同意したものとします。

講師 英伸三 はなぶさ・しんぞう

1936年、千葉市生まれ。東京総合写真専門学校卒。日本写真家協会会員。現代写真研究所所長。農村問題などを通じて日本社会の姿を追い続けた。1992年から中国の上海と江南一帯の明、清時代の面影を残す運河沿いの鎮を訪ね、「改革・解放」の近代化政策によって姿を変えていく街のたたずまいと人びとの暮らしぶりを記録している。

【講評】※6月14日(日)に予定しておりました講評会は公開での開催を中止し、講師による講評内容を共有します。

【写真展】2020年9月12日(土)～27日(日)茅野市美術館 企画展示室 / 【関連展示】没後5年・木之下晃氏を偲んで「木之下晃と寿齡讃歌」

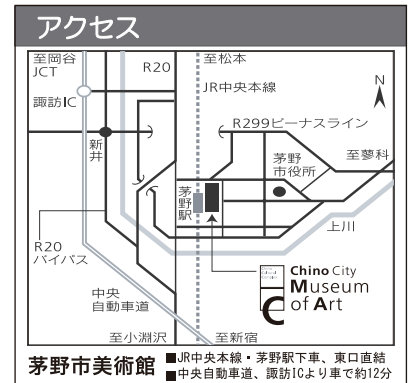
※同時開催:令和2年度 茅野市美術館 常設展 第2期収蔵作品展「木之下晃—音楽を撮る」茅野市美術館 常設展示室

<キリトリセン>

申込用紙 (複数点ご応募の方はコピーしてお使いください)
楷書にて丁寧に記入ください。

※年齢、職業欄は掲載に差支えなければご記入ください。
文字数オーバーは編集させていただきますのでご注意ください。
※複数点応募の場合、写真データと申込用紙の組み合わせがわかるようにしてください。

ふりがな 撮影者	年齢 歳	職業	ご住所(〒 -) 電話番号
タイトル(10字以内)	被写体の年齢 歳	撮影場所	
コメント(30字以内)			受取方法(どちらかを選んで○印をつけてください)
			郵送(送料自己負担) 来館



■応募先・お問合せ
茅野市美術館(茅野市民館内)
〒391-0002
長野県茅野市塚原一丁目1番1号
TEL 0266-82-8222 FAX 0266-82-8223